

ラグビー博物館

ニュージーランドの国技であるラグビーの歴史は深い。ラグビー博物館には数々の貴重品が展示されており、ラグビーの歴史についても詳しく紹介されていた。

ニュージーランド代表チームであるオールブラックスのユニフォームや昔使われていたボール、さらにニュージーランドと日本が初めて試合を行ったときに日本が使用していたユニフォームもあった。日本とニュージーランドは 1936 年と



写真.1 ラグビー博物館の入口

1995 年に試合をしたことがあり、博物館には当時の写真やユニフォームが展示してあった。

私たちは館長のスティーブさんにインタビューして、ラグビーについて教えてもらった。



写真.2 ラグビーが始まったころに使われていたボール
「カパオ・パンゴ」や「カマテ」呼ばれている。

スティーヴさんは「ラグビーは個人よりチームとしての力を重視するスポーツで、チームメイトだけでなく相手チームの選手との友情も大切にする」と言っていた。オールブラックスは試合前に”ハカ”と呼ばれるマオリ伝統の踊りをする。「これには相手のチームに敬意を示すとともに自分のチームの士気を上げる意味がある」と教えてくれた。 ”ハカ”には様々な種類があり、現在オールブラックスが踊っているハカは



写真.3 以前、日本が使用していたユニフォーム

「ニュージーランドのライバル国は？」という質問に「オーストラリア、南アフリカ、イングランド」を挙げた。いずれもワールドカップ大会で優勝したことのある国である。ラグビーが強い国のユニフォームは原色で、ニュージーランドは黒、オーストラリアは黄色、南アフリカは緑、イングランドは白となっ



写真.4 スティーヴ館長(右)

ている。

この博物館にはラグビーを体験できるマシンも置かれており、ラグビーをあまり知らない私たちでも楽しみながらラグビーについて知る

ことができた。ラグビー博物館はラグビーの歴史を知るための貴重な場所になっている。



写真.5 ニュージーランド国内ラグビーチームの様々なユニフォーム